

大杉の切株を見つめる地元住民ら



## 長年、地域を見守ってきた大杉に別れ

◎下大野・河内神社の大杉伐採

2月24日、長年、地域を見守ってきた下大野・河内神社の大杉が、地元の人たちが見守る中、伐採されました。

何百年にもわたり、河内神社のご神木として、地元の人たちに親しまれてきた大杉。その大杉の最期の雄姿を見ようと、当日は多くの人たちが河内神社に集まり、その姿を目に焼き付けていました。

伐採後、地元の人たちは倒れた大杉に、感謝の気持ちを伝えるかのように優しく触れ、また、残された切株の大きさを目の前に、改めてその立派さ、歴史の長さを体感していました。

ステージパフォーマンスで鬼北をPR



## 「30秒」に込められた魅力と思い

◎ふるさとCM大賞えひめ2014

「ふるさとCM大賞えひめ2014公開審査会」は2月23日、松山市コミュニティセンターで開催されました。

県内全市町が自慢のCMを持って参加する本審査会では、30秒という短い時間にそれぞれの魅力を詰め込んだCMが多数集結。本町は「行くぜ!鬼北の町へ」をテーマに、思わず童心に帰ってしまうほど、訪れた人々を夢中に、そして穏やかな気持ちにさせる鬼北町を表現。当日のステージパフォーマンスと併せて、鬼北町の魅力を存分にPRしました。

この公開審査会は愛媛朝日テレビ主催。

子どもたちの目の前でマジック披露



## あっと驚くプロの技に興味津々

◎きほくの里マジックショー

「きほくの里マジックショー」は3月2日、近永公民館講堂で開催されました。

この日は、プロのマジシャンである「ミスター・クロッキー」こと黒崎正博氏がマジックを披露。次々と披露されるプロのテクニクに、子どもたちだけでなく、大人までもが魅了されていました。

また、鬼北町青年団や黒崎さんによるマジック教室も開催され、自分たちにも出来るマジックに子どもたちは興味津々。黒崎さんの指導に目を輝かせながら、マジックの練習をしていました。

勲章を胸に、表彰状を持つ二宮さん



## 「地域のために」長年の功績を称え

◎旭日単光章受章

2月24日、長年、日吉村議会議員として村行政の発展のために尽力された功績が認められ、このたび二宮利夫さん「鍵山」が旭日単光章を受章されました。

この日は、三好伊佐夫南予地方局長が表彰状を贈呈。12年以上の長きにわたり、日吉村議会議員として活動し、地域のために奔走してきた二宮さん。

「地域のために」と当たり前のことをやってきただけのこと」と謙虚な言葉で、その喜びを語る二宮さんの胸には、贈られた勲章が誇らしげに輝いていました。